

都議会公明党ニュース

2016年
春季号

発行 / 都議会公明党 〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 ご意見、ご要望は都議会公明党までお願いします。
TEL.03-5320-7250 FAX.03-5388-1787

都議会議員 **伊藤こういち** 通信

東京都議会 平成 28 年 第 1 回定例会特集



2020年とその先に向けて!!

一人ひとりを大切にする政策を展開

第1回東京都議会定例会(会期:2月17日～3月25日)での代表・一般質問で都議会公明党は、東京オリンピック・パラリンピック大会成功に向けての取り組み、福祉施策、教育などの分野で積極的に議論を展開しました。そこで明らかになった都の見解を紹介します。

東京五輪・パラリンピック成功に向けて!!

「ノーリミッツ・チャレンジ」

都は、パラリンピックの魅力を感じて「ノーリミッツ・チャレンジ」事業を都内各地の行事で展開してきました。さらに平成28年度は、パラリンピック関係の行事を大幅に増やすとともに、多くの人が集まる街中でのデモンストレーションや、都庁展示室での展示等も行います。

また、専用ホームページの開設やSNS(ソーシャルネットワークサービス)の活用等を通じて、発信力を高めていきます。



いよいよ「文化プログラム」スタート

2020年東京大会に向けた「文化プログラム」は、都民・国民にスポーツと文化・芸術を一体として理解し、楽しんでもらえるよう、スタート初年度の具体的な内容の提示を求めました。

都は、上野「文化の杜」をはじめ、*六本木アートナイトを、国が行うスポーツと文化の国際会議に合わせて10月に開催します。

※六本木アートナイト:生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的としたイベント

被災地と連携した様々な事業

都議会公明党は被災地の復興の希望につながる取り組みを展開すべきと求めてきました。

都はこれまで、スポーツ交流による復興支援を継続してきましたが、平成28年度は1,000km縦断リレーに世界的な著名人や、多くの外国人ランナーも参加してもらい、一層注目を高めていくことを企画します。

さらに、リオ大会中に、被災地で大型スクリーンによる生中継ライブサイトの開催や、大会後にリオから受け継いだ五輪旗のお披露目である



青森から東京まで、東日本大震災の被災地をランニングと自転車をつなぐリレー「未来(あした)への道1000km縦断リレー2015」に参加する伊藤こういち都議。復興へ向けた都の取組等を発信することで、東日本大震災の記憶の風化を防止し、全国と被災地との絆を深める。(H27.7.24 青森市)

披露目であるフラッグツアーの実施や、事前キャンプ誘致を共同してPRする等、被災地と連携した様々な事業を展開します。

介護・保育の人材

多様な介護人材の確保を支援

介護の担い手の確保は重要な課題です。そのためには潜在的介護職員の掘り起こしや、元気高齢者に有償で介護の支え役になっていただくことも一策です。



都は、新たに設置する福祉人材対策推進機構において、元気高齢者が食事の配膳や清掃などのサポート業務を担うための研修を行っていきます。

都独自の補助制度を創設

都が新たに打ち出した、介護職員用の宿舍を借り上げる際の宿舍家賃への補助事業が注目されています。都議会公明党は、新規借上げの宿舍だけでなく、すでに借上げている宿舍も対象とするなど、幅広く補助を適用すべきと主張してきました。

都は平成28年度から、福祉避難所の指定を受けた施設等(特別養護老人ホームなど)の運営事業者が、施設周辺で職員宿舍を借上げる場合に支援する、都独自の補助制度をスタートさせることになりました。

保育人材の確保・定着をサポート

介護人材と並んで、保育人材の確保・定着も待ったなしです。人材確保には、保育士を養成する専門学校などに対し、保育所等に就職するよう要請すべきです。

都は平成28年度、新たに、保育所等への就労促進に取り組む保育士養成施設に対し、就職内定率が全国平均2%増加するとともに、26万円を支援するとともに、事業者向け研修を2回から3回に拡充していく考えです。



基礎学力の定着

都教育委員会が開発した「ベーシックドリル」は、基礎学力の定着を進めるための教材として大変に好評です。その活用を授業以外にも広げるなど、小・中学校における基礎学力の定着に向け、取り組みを一層充実すべきです。

都は今後、ドリルを電子化し、校外においてもコンピューターやタブレットで取り組めるようにするとともに、一人ひとりの取り組み状況を瞬時に採点・把握できるようにしていきます。

